

財政状況のお知らせ



市民の皆さんが納めた税金などが、どのように使われているかをお知らせします。

今回は令和5年度決算の概要、健全化判断比率の状況、令和6年度上半期予算執行状況などを公表します。

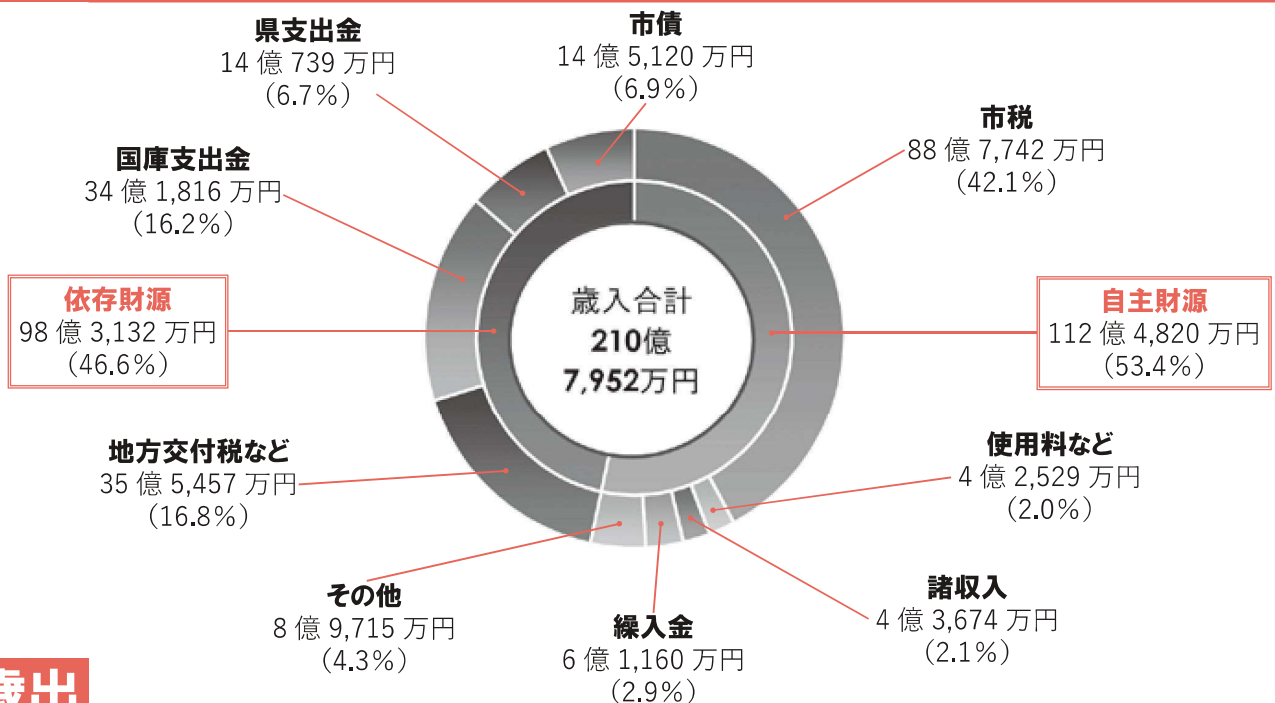
- 令和5年度決算の概要 -

一般会計の歳入決算額は210億7,952万円で前年度比2.0%の減、歳出決算額は201億9,804万円で前年度比1.7%の減となりました。

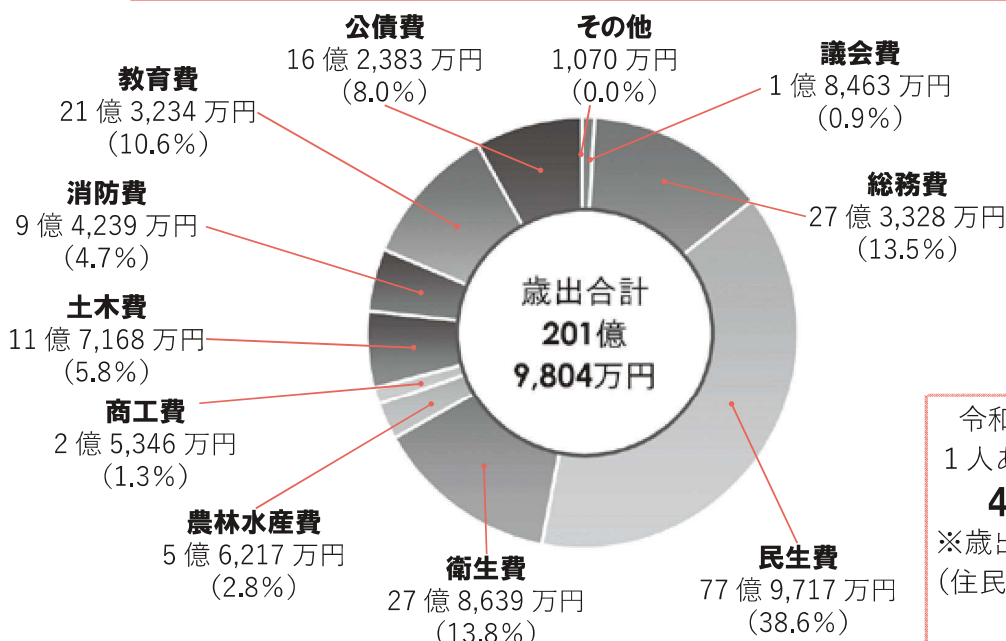
前年度比較での主な減額要因は、令和4年12月に供用を開始した広域火葬場整備事業が約4億4千万円、また、令和5年4月に開館した市立図書館整備事業が約3億4千万円の減額となったことが挙げられます。

市税は、固定資産税・償却資産が減額となりましたが、法人市民税・法人税割や固定資産税・家屋が増額となったため、市税全体では横ばいとなりました。

歳入



歳出



令和5年度に市民の皆さん1人あたりに使われたお金は、**494,517円**でした。
※歳出決算額 ÷ 40,844人 (住民基本台帳人口 令和6年3月31日現在)

用語解説

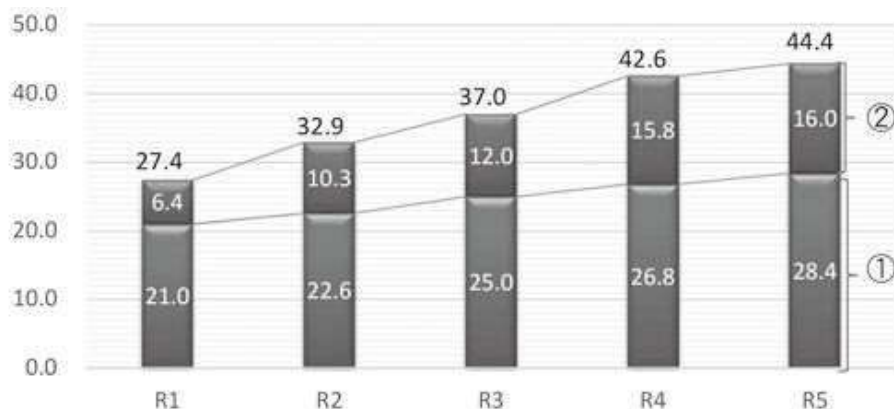


自主財源	富津市が自らの権限で収入することができる財源
市税	市民税、固定資産税など市に納付される税金
使用料など	公共施設の使用料、住民票の交付手数料など
諸収入	市税延滞金、預金利子、貸付金の元金収入、その他雑入など
繰入金	基金からの繰入金
その他	財産収入、寄附金、前年度で生じた剰余金のうち当該年度への繰越金
依存財源	国・県から交付される財源など
地方交付税など	国や県が徴収した特定の税などから分配されるもの
国庫支出金	市の事業に対し国から交付されるもの
県支出金	市の事業に対し県から交付されるもの
市債	国や金融機関などから調達する長期的な借入金

議会費	市議会の運営など
総務費	庁舎の管理、企画関係、税金賦課徴収、戸籍管理、選挙、統計調査など
民生費	子育て支援、生活保護、高齢者支援、障がい者支援、保育所運営費など
衛生費	各種検診、予防接種、環境対策、ごみ処理、公害対策など
農林水産業費	農業・林業・水産業の振興費など
商工費	観光振興、商工振興、消費生活対策など
土木費	道路・橋・河川・公園・市営住宅の管理、都市計画など
消防費	火災の予防・消火、救急活動、消防署・消防車両の管理・運営など
教育費	小・中学校、公民館、スポーツ施設などの管理・運営、文化財の保護など
公債費	市の借入金（市債）の返済金
その他	災害復旧、労働対策など

一般会計の基金（貯金）残高推移

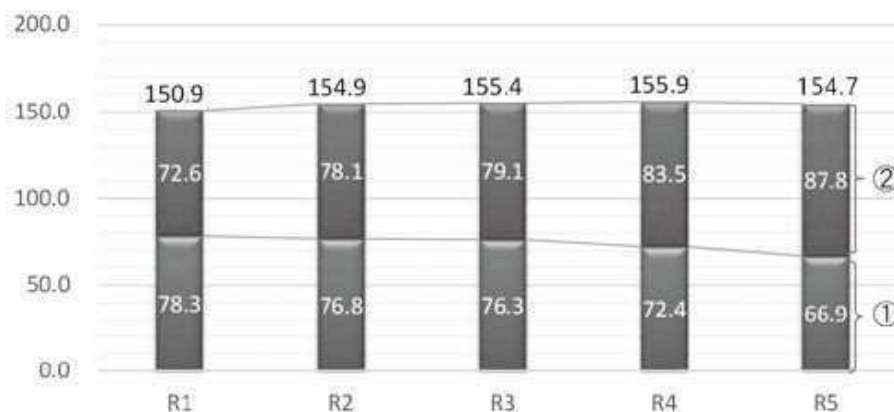
①財政調整基金 ②その他の基金（単位：億円）



市の貯金である基金の残高は、前年度の42億6千万円から1億8千万円増の44億4千万円となりました。このうち、財政調整基金は、前年度決算剰余金の2分の1以上の3億6千万円など合計4億2千万円を積み立てましたが、当初予算などの財源として2億6千万円を取り崩し、28億4千万円となりました。

一般会計の市債（借入金）残高推移

①臨時財政対策債 ②臨時財政対策債以外（単位：億円）



市債は、道路や学校などの社会資本整備のため借り入れ、将来、便益を受けることとなる後世代の住民と現世代の住民との間で負担を公平化させる役割を担っています。

市の借入金の残高は、広域火葬場整備事業の財源とした市債の減額などにより、前年度の155億9千万円から1億2千万円減の154億7千万円となりました。

全ての会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額	
一般会計	210億7,952万円	201億9,804万円	8億8,148万円	
特別会計	117億2,196万円	115億9,033万円	1億3,163万円	
内訳	国民健康保険事業	53億8,928万円	53億3,950万円	4,978万円
	後期高齢者医療	7億3,751万円	7億3,340万円	411万円
	介護保険事業	55億9,517万円	55億1,743万円	7,774万円

○健全化判断比率の状況

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、「健全化判断比率」を公表します。
算定した比率が国の定めた早期健全化基準や財政再生基準を上回ると、財政運営上危険な状態と判断され、それぞれの計画に従い、財政健全化を図ることになります。
富津市の令和5年度決算に基づく各比率は、いずれも基準を下回っています。

健全化判断比率

指標名	富津市の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし	13.06%	20.00%
連結実質赤字比率	赤字なし	18.06%	30.00%
実質公債費比率	7.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率	45.0%	350.0%	

財政健全化の比率はいずれも基準を下回っています。
今後も引き続き健全な財政運営に努めていきます。

用語解説

- 実質赤字比率**
一般会計の実質的な赤字が、市の年間の収入に対して、どの程度かを示す指標
- 連結実質赤字比率**
特別会計を含む全ての会計を合算し、市全体としての赤字の程度を示す指標
- 実質公債費比率**
借入金の実質的な年間返済額が、市の年間の収入に対して、どの程度かを示す指標
- 将来負担比率**
将来的に市が支払うべき負担見込額が、市の年間の収入に対して、どの程度かを示す指標

○令和6年度上半期予算執行状況など（4月～9月）

令和6年度の予算の執行状況、市債の現在高などをお知らせします。予算の執行状況は上半期中の収入と支出を示すもので、市債の現在高は市の借入金の状況を示しています。

これらは市の財政状況が現時点でどのような状況にあるかを市民の皆さんにお伝えするため、年2回（5月・11月）公表しています。

一般会計の執行状況

歳入	予算現額	収入済額	収入率
市税	83億4,419万円	49億8,678万円	59.8%
交付税など	37億7,664万円	21億4,119万円	56.7%
使用料など	3億9,258万円	1億2,824万円	32.7%
国庫支出金	36億8,367万円	11億9,399万円	32.4%
県支出金	16億617万円	1億1,527万円	7.2%
繰入金	9億7,996万円	0万円	0.0%
諸収入	4億9,487万円	9,226万円	18.6%
市債	29億5,990万円	0円	0.0%
その他	6億4,631万円	6億2,295万円	96.4%
合計	228億8,429万円	92億8,068万円	40.6%

歳出	予算現額	支出済額	執行率
議会費	2億91万円	1億65万円	50.1%
総務費	26億5,834万円	10億246万円	37.7%
民生費	80億1,165万円	28億4,025万円	35.5%
衛生費	29億3,870万円	8億2,625万円	28.1%
農林水産業費	8億1,070万円	1億4,189万円	17.5%
商工費	2億2,207万円	1億5,116万円	68.1%
土木費	12億4,265万円	4億9,886万円	40.1%
消防費	10億2,329万円	3億9,896万円	39.0%
教育費	41億3,716万円	13億5,259万円	32.7%
公債費	15億7,473万円	7億8,872万円	50.1%
その他	6,409万円	77万円	1.2%
合計	228億8,429万円	81億256万円	35.4%

※予算現額とは、当初予算額に補正予算額などを加えたものです。

特別会計の執行状況

会計名	予算現額	収入済額	支出済額
国民健康保険事業	55億3,687万円	20億3,602万円	20億4,337万円
後期高齢者医療	7億9,658万円	2億7,955万円	1億5,907万円
介護保険事業	57億2,211万円	23億8,646万円	23億3,052万円

市債の現在高

一般会計	147億1,527万円
特別会計	0円

市民1人あたりの市債負担額

363,089円

※市債現在高÷40,528人

1世帯あたりの市債負担額

735,138円

※市債現在高÷20,017世帯

人口:40,528人 世帯:20,017世帯

(住民基本台帳人口)

令和6年9月30日現在)

※1万円未満は四捨五入しています。 問 財政課 ☎ 0439-80-1237

一時借入金の状況

一般会計	0円
特別会計	0円

市の主な財産

土地	2,021,608㎡
建物	154,989㎡
財政調整基金	32億2,745万円
その他の基金	24億6,046万円

